JRRN Annual Report 2018

日本河川・流域再生ネットワーク　平成 30 年度 事業報告書

http://www.a-rr.net/jp/　https://www.facebook.com/JapanRRN

日本河川・流域再生ネットワーク（**JRRN**）は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動しています。またアジア河川・流域再生ネットワーク(**ARRN**)の事務局として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担っています。平成 30 年度（2018 年）は、川づくりに関わる情報共有基盤の整備、川づくりの担い手の育成に向けた普及・啓発や協働・支援、国際的な技術交流に取り組みました。

川づくりに関わる情報共有基盤整備

JRRN ホームページ

JRRN facebook

JRRN ニュースレター

■ホームページ（計 284 件更新）　■facebook（計 249 件更新）

■ニュースメール（毎週配信・計 51 回）　■ニュースレター（毎月発行・計 12 回）

■水辺の小さな自然再生 ホームページ ＆ facebook 運営管理

川づくりに関する冊子等の発行

桜のある水辺風景 2018 写真集
（2018 年 6 月）

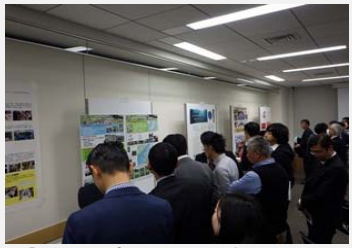
「小さな自然再生サミット」開催報告
（2019 年 2 月）

川づくりの担い手の育成に向けた普及・啓発 及び 協働・支援

小さな自然再生が中小河川を救う！VI (2018.9)

水の巡回展ネットワーク「雨展」企画運営協力

秋田県「多自然川づくり研修会」協力(2018.10)


「水循環シンポジウム 2018」発表(2018.12)

小さな自然再生サミット 2019 神戸大会(2019.1)

小さな自然再生サミット現地視察(2019.1)

講習会～iRIC で学ぶ川の流れ(2019.1)

「川づくり団体全国事例発表会」発表(2019.1)

川づくりに関わる国際的な技術交流

第 15 回水辺・流域再生国際フォーラム(2018.8)

第 13 回 ARRN 運営会議(2018.8)

台湾台中市政府水利局技術交流(2018.8)

香港 NGO 団体 KFBG 技術交流(2018.8)

香港政府渠務署技術交流(2018.9)

中国 IWHR・水分野国際組織座談会(2018.10)

受賞等

第 20 回日本水大賞「国際貢献賞」表彰

平成 30 年度 河川基金助成事業優秀成果表彰

平成 30 年度　事業報告書

日本河川・流域再生ネットワーク
自　平成 30 年 4 月　1 日
至　平成 31 年 3 月 31 日

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)は、川づくりについて共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい川づくりの技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目指して活動しております。また、アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の事務局として、中国や韓国などARRN 会員や海外関係機関との連携を通じ、日本の優れた知見を海外に向けて発信し、同時に海外の素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割を担っております。

平成 30 年度は、川づくりに関わる情報共有基盤の整備、川づくりの担い手の育成に向けた普及・啓発や協働・支援、国際的な技術交流に取り組みました。また、会員に関しては、団体会員は 1 増の 60 団体、個人会員は 23 増の 795 人となりました。

1．平成 30 年度実施事業

【１】　川づくりに関わる情報共有基盤整備

国内外の川づくりに関連する報道ニュース、行事情報、活動事例、新刊案内、行政ニュース等について、ホームページ、facebook、YouTube ページ、ニュースメール、ニュースレター等を通じて広く社会に発信し、情報循環に努めました。また、JRRN 会員や海外連携機関（ARRN 会員組織、英国河川再生センター、欧州河川再生センター）からの川づくりに関わる各種提供情報の共有を図りました。

平成 30 年度　JRRN 情報媒体の活動実績　※(　)は前年度

JRRN 情報媒体	頻度	合計
ホームページ	随時	284 件 (338 件)
facebook	随時	249 件 (172 件)
ニュースメール	毎週配信	51 回 (49 回)
ニュースレター	毎月発行	12 回(12 回)

また、「小さな自然再生」研究会の幹事として「水辺の小さな自然再生ホームページ」及び「水辺の小さな自然再生 facebook」の運営管理を担い、水辺でできる小さな自然再生に関わる情報共有を推進しました。加えて、ARRN の事務局として、ARRN ホームページの運営・管理を担い、ARRN 活動成果やアジアにおける川づくりに関わる情報の普及に努めました。

【２】川づくりの担い手の育成及び協働・支援

川づくりの普及・啓発と人材育成を目的とした行事を企画・運営し、また全国の川づくり団体が取り組む活動の協働・支援を担いました。

(1)「桜のある水辺風景 2018」写真公募と写真集制作・普及

水辺がつくる美しい景観の未来への継承を目的として、平成 30 年に撮影された「桜のある水辺写真」を一般より募集し、26 名・44 点の作品を応募頂きました。応募作品は写真集としてとりまとめホームページで公表しました。

(2)水辺でできる「小さな自然再生」の全国普及 «河川基金助成事業»

「小さな自然再生」研究会の運営幹事として、全国の小さな自然再生の担い手が集う交流行事を共催・協力し、また全国の活動事例を集約したデータベースを制作・公開しました。

また、主催行事については開催報告書をホームページで公表し社会に還元しました。

平成 30 年度 「水辺の小さな自然再生」普及促進に関わる主な協働成果

行事名／活動名	開催／公開日	場所	参加者	主催・共催
自由集会「小さな自然再生が中小河川を救う！ VI リターンズ」	平成 30 年 9 月 22 日	東京	70 名	「小さな自然再生」研究会有志メンバー
「小さな自然再生データベース」公開	平成 31 年 1 月 24 日	–	–	「小さな自然再生」研究会、JRRN
小さな自然再生サミット 2019 神戸大会	平成 31 年 1 月 26 日～27 日	神戸	165 名	「小さな自然再生」研究会、JRRN
講習会～iRIC で学ぶ川の流れ（初級）	平成 31 年 1 月 27 日	神戸	35 名	「小さな自然再生」研究会、JRRN

(3)川づくり団体との協働・支援

JRRN 会員を含む川づくりに関わる諸団体が取り組む下記の公益活動に対し、企画や行事開催、広報等の支援や協働活動を担いました。

国内の主な協働実績

年月	団体名等	協働内容
通年	JRRN 会員を含む川づくり団体	行事案内や刊行物の広報等（合計 60 件）
通年	水の巡回展ネットワーク(jawanet)	「雨展」企画・運営協力
通年	応用生態工学会	委員会活動協働
平成 30 年 6 月	隅田川流域ｸﾘｰﾝｷｬﾝﾍﾟｰﾝ実行委員会	「隅田川ｸﾘｰﾝ大作戦」企画運営協力
平成 30 年 10 月	秋田県建設部河川砂防課	「多自然川づくり現地研修会」 企画運営協力

【３】川づくりの国際的な技術交流

アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の事務局及び日本窓口組織として、ARRN メンバーによる技術交流を目的に毎年開催する『水辺・流域再生国際フォーラム』を運営し、日本における川づくりの経験のアジアに向けた普及に努めました。また、川づくりに関わる海外政府機関や研究機関、市民団体等の来日視察団との技術交流や研修を受け入れ、国内行政機関の協力を得ながら日本における川づくりの技術、施策、具体事例等の橋渡しを担いました。

国際的な技術交流実績

年月	団体名等	交流内容
平成 30 年 8 月 21 日	アジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN)	「第 13 回　ARRN 運営会議」企画運営（東京）
平成 30 年 8 月 21 日	アジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN)	「第 14 回水辺・流域再生国際フォーラム」企画運営（同上）
平成 30 年 8 月 23 日	台湾・台中市政府水利局	首都圏の河川再生現場視察及び河川管理者との技術交流支援
平成 30 年 8 月 30 日～9 月 1 日	香港・環境 NGO (KFBG)	首都圏の河川環境に配慮した川づくり現場視察支援
平成 30 年 9 月 18 日	香港特別行政区政府渠務署	東京の高潮・洪水対策に関わる現場視察及び管理者技術交流支援
平成 30 年 10 月 17 日	中国水利水電科学研究院 (IWHR)	座談会「Round-Table Meeting of Leaders of Water-Related International Organizations」（北京）参加

2. 会員の入退会数及び現在の会員数

団体会員、個人会員の入退会数及び平成 30 年度末現在の会員数は次表の通りです。

平成 30 年度　JRRN 会員の入会・退会状況

会員区分	平成 29 年度末	入会数	退会数	現在数
団体会員	59	1	0	60
個人会員	772	26	3	795

3. その他

JRRN が国内外の川づくりの担い手と共に取組んできた河川再生に関わる国内外の情報共有と人材交流に対し、「日本及びアジアの河川再生の担い手をつなぐ協働基盤構築」として第 20 回日本水大賞「国際貢献賞」を拝受しました。また、平成 29 年度に公益財団法人河川財団より助成頂いた『水辺の「小さな自然再生」現地研修会による川づくり人材育成』事業に対し、「平成 30 年度 優秀成果表彰」を頂くことができました。

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)　事務局

〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号　ＮＭＦ茅場町ビル７階　公益財団法人リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3865　Fax:03-3523-0640　E-mail: info@a-rr.net

URL: http://www.a-rr.net/jp/　Facebook: https://www.facebook.com/JapanRRN